

2025

11

# ナイル

## 現代短歌ナイル

【今月の歌】

ナイルキャンパス／五代目神田伯梅

\*\*\*

芙貴子ワールド／松本芙貴子  
偶然の糸を遊ぶ【17】

\*\*\*

涼さんぽ／橋本涼【7】

\*\*\*

高校生短歌特集【11】



# NILE CAMPUS

317

伯梅閑話―御巢鷹・ひまご会で―

小村井敏子（五代目神田伯梅）

二〇二五年は、御巢鷹に日航のジャンボ機が墜落してから四十年だという。それで思い出したことがある。その昔、「ひまご会」という会があった。ひ孫の代まで続けようと「ひまご会」と名付けたそうだが今はない。骨董店勤務の女性が事務を引き受けて、トウホウのバンノさんという方があちこちで出会った方々を一本釣りで会員にする会だった。私がどこでバンノさんに出会ったか記憶しないが、いずれ、どこかの公演か何かだ。ひまご会は、多士済々、会員の一人が講師となつて何かをする。お茶会だったこともある。なんでも鑑定団で有名な中島誠之助氏が来て、新聞記事を見せてもらったこともある。内容は中島氏の美談だった。それが有名になるきっかけになったようだ。誰かが講師になったあとは、食事会だ。つまり、飲み会ということになる。ちょうど、バブル期で大都会でもタクシーがなかなかつかまえられなかった。そんなとき、飲んでいる間、タクシーを待たせる方がいたのを覚えている。待ち時間の料金を払うのがなんでもなかったのだ。ひまご会に、ジェットコースターの設計をする方がいた。（重力加速度の知識があるからだと思う）御巢鷹の事故のあと、（墜落するとき）乗客は意識があったかどうかを聞かれ、「意識はなかった」と答えたという話だった。あとから、そうではないことはわかったろうが、事故直後の遺族の気持ちを思うと、「意識があった」とは言えなかったのだ。ひまご会で、私は歌会をした。お題は「靴」。私の歌はこれ。

【脱ぎ捨てた靴も疲れているこよい風呂に入らず眠ってしまう】

この時がきっかけでわれらが仲間になったのが、ペンネーム、空土久（仲間になった初めは亜土）、本名、保田司（やすだつかさ）。テレビドラマの脚本を書いたり、脚本のアイデアを出したりしていた方で、日本作家クラブ専任理事、劇団にんげん座、横浜いずみ歌舞伎所属と、Facebookに書いてあった。